ボーリング柱状図

調　査　名　各務原市特別支援学校新築に伴う地質調査業務委託

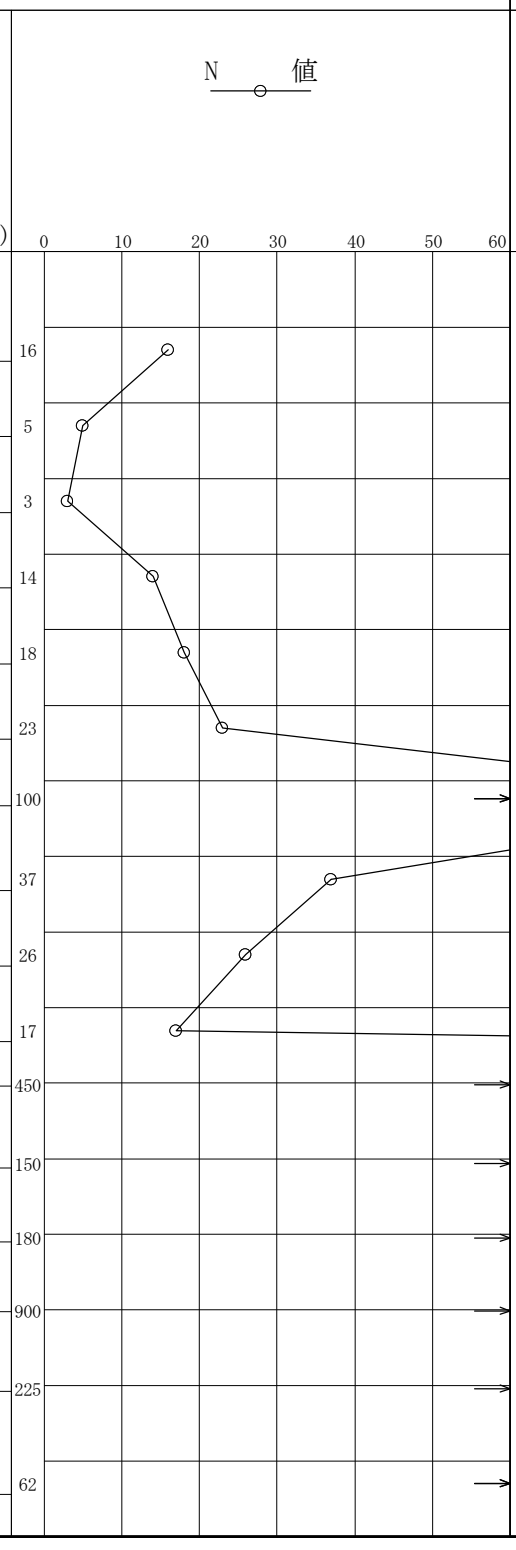
ボーリングNo										

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No.1	調査位置	各務原市鵜沼羽場町2丁目5、10,19,27,31-1,41,42地内							北緯	35° 24' 25.5"
発注機関	各務原市役所教育委員会事務局				調査期間	令和 2年 12月 25日 ～ 3年 3月 26日				東経	136° 55' 23.4"
調査業者名	株式会社朝日土質設計コンサルタント 電話（058-275-1061）	主任技師	西脇弘輝		現場代理人	吉田圭	コア鑑定者	田中貴洋		ボーリング責任者	窪田好伸
孔口標高	KBM +0.48m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	D0-D	ハンマー落下用具 半自動落下装置
総掘進長	16.44m								エンジン	TF-90F	ポンプ BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
	-0.32	0.80	0.80		砂混じり粘土	暗褐～黄褐			砂は微細砂主体 含水中位 粘性中													
1	-0.77	0.45	1.25		砂混じりシルト	黄灰～灰		硬い	砂は微細砂主体		1.15	3	6	7	16/30							
2	-1.77	1.00	2.25		礫混じり砂	黄褐灰	緩い～中位		砂の粒子不均等 砂は細砂～粗砂混じる 細礫若干混入 含水中位		1.45 2.15	3	1	1	5/30							
3	-3.02	1.25	3.50		火山灰質シルト	黄灰～灰		軟らかい	全体に火山灰、浮石多量に混入 含水中位 粘性弱		2.45 3.15	1	1	1	3/30							
4					礫混じり砂	暗黄褐～暗灰	中位～非常に密な		砂の粒子不均等 砂は細砂～粗砂混じる 全体に火山灰、浮石若干混入 含水中位		3.45 4.15	4	5	5	14/30							
5											4.45 5.15	5	6	7	18/30							
6											5.45 6.15	7	8	8	23/30							2/8
7											6.45 7.15	23	37/8		60/18							
8											7.33 8.15	12	13	12	37/30							
9											8.45 9.15	7	8	11	26/30							
10	-10.42	7.40	10.90								9.45 10.15	8	5	4	17/30							2/9
11					玉石混じり砂礫	暗黄灰	非常に密な		φ5～40mm程の亜角礫～亜円礫主体 φ150～240mm程の玉石混入 (コア長50～80mm程で採取) 局所的に玉石が連続する 礫間は細砂～粗砂主体 含水中位～大位		10.45 11.00	60/4			60/4							
12											11.04 12.00	50	10/2		60/12							
13										2/13 12.85 ▽	12.12 13.00	60			60/10							
14											13.10 14.00	60/2			60/2							2/11
15											14.02 15.00	60/8			60/8							
16	-15.96	5.54	16.44								15.08 16.15	18	21	21/9	60/29							2/12
											16.44											



ボーリング柱状図

調　査　名　各務原市特別支援学校新築に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo										

事業・工事名

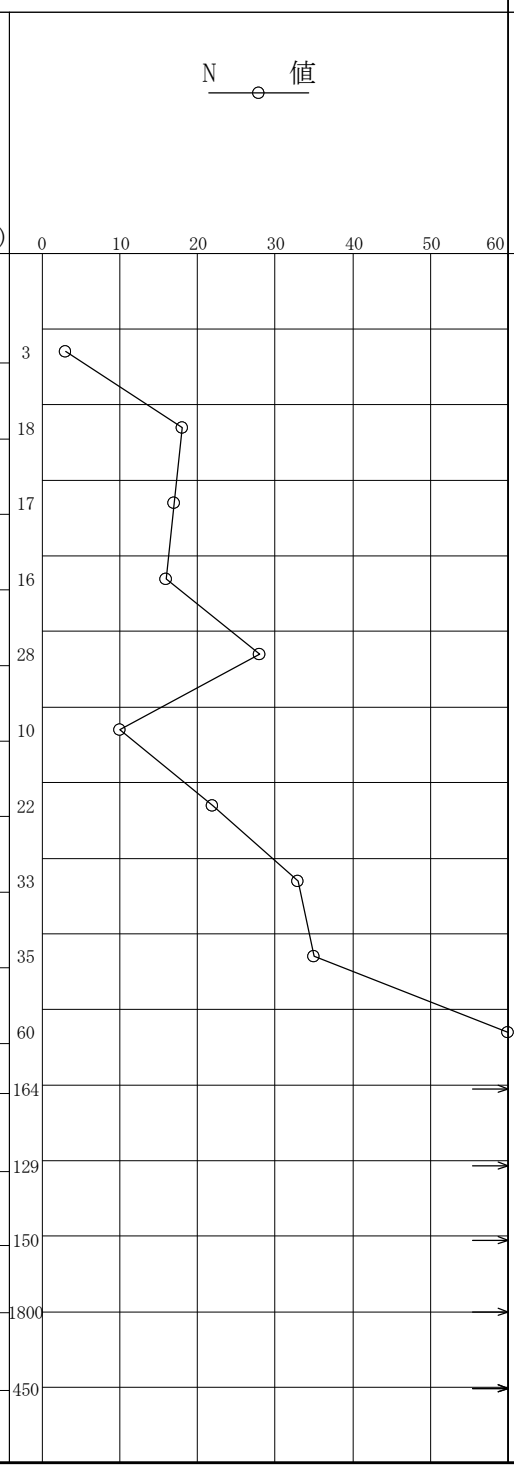
シートNo

ボーリング名	No．2	調査位置	各務原市鵜沼羽場町2丁目5、10，19，27，31-1，41，42地内							北緯	35° 24’ 23.7”
発注機関	各務原市役所教育委員会事務局				調査期間	令和 2年 12月 25日 ～ 3年 3月 26日				東経	136° 55’ 19.5”
調査業者名	株式会社朝日土質設計コンサルタント 電話（058-275-1061）	主任技師	西脇弘輝		現場代理人	吉田圭	コア鑑定者	田中貴洋		ボーリング責任者	窪田亮士朗
孔口標高	KBM -1.52m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	D0-D	ハンマー落下用具 半自動落下装置
総掘進長	15.04m								エンジン	NFD-9	ポンプ BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	-3.02	1.50	1.50		砂混じり粘土	暗褐		軟らかい	砂は微細砂主体 含水中位～大位 粘性中	
2	-3.32	0.30	1.80		砂混じりシルト	黄灰～灰			砂は微細砂主体	
	-4.02	0.70	2.50		礫混じり砂	黄灰	中位		砂の粒子不均等 砂は細砂～粗砂混じる	
3	-4.52	0.50	3.00		火山灰質シルト	黄灰～灰			全体に火山灰、浮石多量に混入 含水中位 粘性弱	
4					礫混じり砂	暗黄褐～黄灰	中位～密な		砂の粒子不均等 砂は細砂～粗砂混じる 全体に火山灰、浮石若干混入 含水中位	
5										
6										
7										
8	-10.32	5.80	8.80							
9					玉石混じり砂礫	暗黄灰	密な～非常に密な		φ5～40mm程の亜角礫～亜円礫主体 φ150～330mm程の玉石混入 (コア長50～110mm程で採取) 局所的に玉石が連続する 礫間は細砂～粗砂主体 含水中位～大位	
10										2/19 10.82
11										
12										
13										
14										
15	-16.56	6.24	15.04							

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	1	3／30	3
1.45 2.15	4	7	7	18／30	18
2.45 3.15	5	7	5	17／30	17
3.45 4.15	6	5	5	16／30	16
4.45 5.15	8	9	11	28／30	28
5.45 6.15	4	3	3	10／30	10
6.45 7.15	7	8	7	22／30	22
7.45 8.15	10	11	12	33／30	33
8.45 9.15	9	12	14	35／30	35
9.45 10.15	22	24	14	60／30	60
10.45 11.00	49	11／1		60／11	164
11.11 12.00	37	23／4		60／14	129
12.14 13.00	33	27／2		60／12	150
13.12 14.00	60／1			60／1	1800
14.01 15.00	60／4			60／4	450
15.04					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
2/15				
2/16				
2/17				
2/18				

ボーリング柱状図

調　査　名　各務原市特別支援学校新築に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo										

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No.3	調査位置	各務原市鵜沼羽場町2丁目5、10,19,27,31-1,41,42地内							北緯	35° 24' 24.1"
発注機関	各務原市役所教育委員会事務局			調査期間	令和 2年 12月 25日 ～ 3年 3月 26日					東経	136° 55' 22.1"
調査業者名	株式会社朝日土質設計コンサルタント 電話（058-275-1061）	主任技師	西脇弘輝	現場代理人	吉田圭	コア鑑定者	田中貴洋			ボーリング責任者	窪田亮士朗
孔口標高	KBM -0.51m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	D0-D	ハンマー落下用具 半自動落下装置
総掘進長	15.09m								エンジン	NFD-9	ポンプ BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	-1.01	0.50	0.50		砂混じり粘土	暗褐			砂は微細砂主体	
1	-1.51	0.50	1.00		砂混じりシルト	黄灰～灰			砂は微細砂主体	
	-2.01	0.50	1.50		礫混じり砂	黄灰	緩い		砂の粒子不均等 砂は細砂～粗砂混じる	
2					火山灰質シルト	黄灰～灰		軟らかい	全体に火山灰、浮石多量に混入 含水中位 粘性弱	
3	-3.51	1.50	3.00		礫混じり砂	暗黄褐～黄灰	中位～密な		砂の粒子不均等 砂は細砂～粗砂混じる 全体に火山灰、浮石若干混入 含水中位	
4										
5										
6										
7										
8										
9	-10.21	6.70	9.70							
10					玉石混じり砂礫	暗黄灰	非常に密な		φ5～30mm程の亜角礫～亜円礫主体 φ150～240mm程の玉石混入 (コア長50～80mm程で採取) 局所的に玉石が連続する 礫間は細砂～粗砂主体 含水中位～大位	
11										
12										2/25 11.94
13										
14										
15	-15.60	5.39	15.09							

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	4	3	2	9/30	9
1.45 2.15	1	1	1	3/30	3
2.45 3.15	1	3	6	10/30	10
3.45 4.65	3	5	6	14/30	14
4.95 5.15	5	11	10	26/30	26
5.45 6.15	13	11	11	35/30	35
6.45 7.15	5	5	4	14/30	14
7.45 8.15	6	7	6	19/30	19
8.45 9.15	7	7	12	26/30	26
9.45 10.00	60/3			60/3	600
10.03 11.00	16	18	26/9	60/29	62
11.29 12.00	60/5			60/5	360
12.05 13.00	29	31/6		60/16	113
13.16 14.00	60/4			60/4	450
14.04 15.00	60/9			60/9	200
15.09					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
3.70 4.30	孔内水平載荷試験 E=5,185(kN/m2)

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
				2/19
				2/20
				2/22
				2/23

ボーリング柱状図

調　査　名　各務原市特別支援学校新築に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo										

事業・工事名

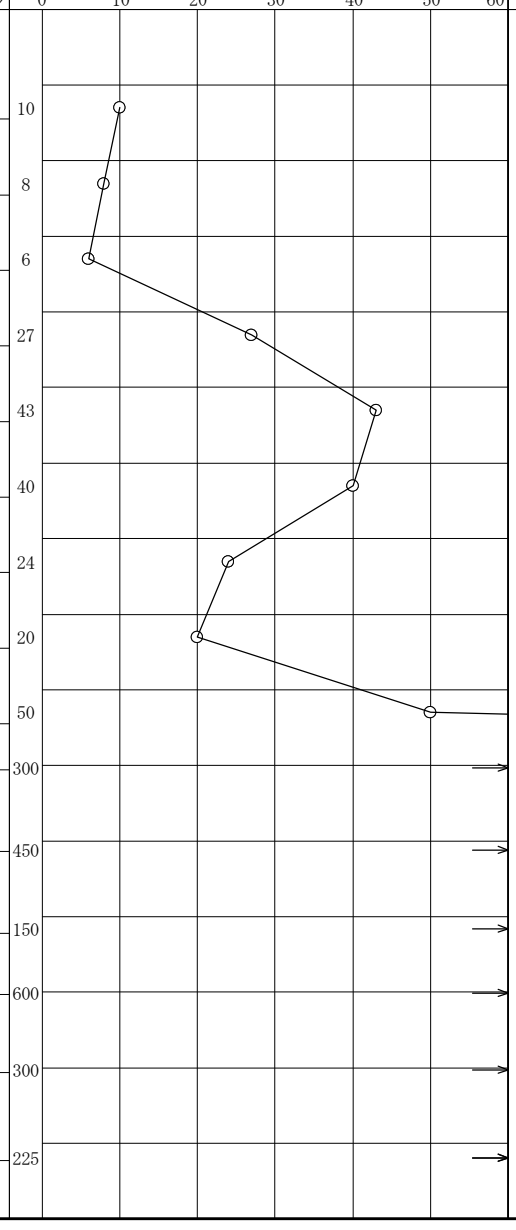
シートNo

ボーリング名	No．4	調査位置	各務原市鵜沼羽場町2丁目5、10，19，27，31-1，41，42地内							北緯	35° 24’ 22.4”
発注機関	各務原市役所教育委員会事務局			調査期間	令和 2年 12月 25日 ～ 3年 3月 26日					東経	136° 55’ 25.3”
調査業者名	株式会社朝日土質設計コンサルタント 電話（058-275-1061）	主任技師	西脇弘輝	現場代理人	吉田圭	コア鑑定者	田中貴洋			ボーリング責任者	窪田好伸
孔口標高	KBM -1.02m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	D0-D	ハンマー落下用具 半自動落下装置
総掘進長	15.23m								エンジン	TF-90F	ポンプ BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	-2.02	1.00	1.00		砂混じり粘土	暗褐			砂は微細砂主体 含水中位 粘性中	
1	-2.52	0.50	1.50		砂混じりシルト	暗褐		硬い	砂は微細砂主体	
2	-3.92	1.40	2.90		礫混じり砂	暗灰	緩い		砂の粒子不均等 砂は細砂～粗砂混じる 細礫若干混入 含水中位	
3	-4.82	0.90	3.80		火山灰質シルト	黄灰～灰		中位	全体に火山灰、浮石多量に混入 含水中位 粘性弱	
4 5 6 7 8	-9.82	5.00	8.80		礫混じり砂	暗黄褐～黄灰	中位～密な		砂の粒子不均等 砂は細砂～粗砂混じる 全体に火山灰、浮石若干混入 含水中位	
9 10 11 12 13 14 15	-16.25	6.43	15.23		玉石混じり砂礫	暗黄灰	非常に密な		φ5～40mm程の亜角礫～亜円礫主体 φ150～210mm程の玉石混入 (コア長50～70mm程で採取) 局所的に玉石が連続する 礫間は細砂～粗砂主体 含水中位～大位	2/6 11.61

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.15	3	3	4	10／30
1.45 2.15	2	3	3	8／30
2.45 3.15	3	1	2	6／30
3.45 4.15	7	8	12	27／30
4.45 5.15	12	15	16	43／30
5.45 6.15	13	14	13	40／30
6.45 7.15	7	7	10	24／30
7.45 8.15	6	7	7	20／30
8.45 9.15	11	14	25	50／30
9.45 10.00	60／6			60／6
10.06 11.10	60／4			60／4
11.14 12.10	41	19／2		60／12
12.22 13.00	60／3			60／3
13.03 14.00	60／6			60／6
14.06 15.15	60／8			60／8
15.23				



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日

2/1　2/2　2/3　2/4　5